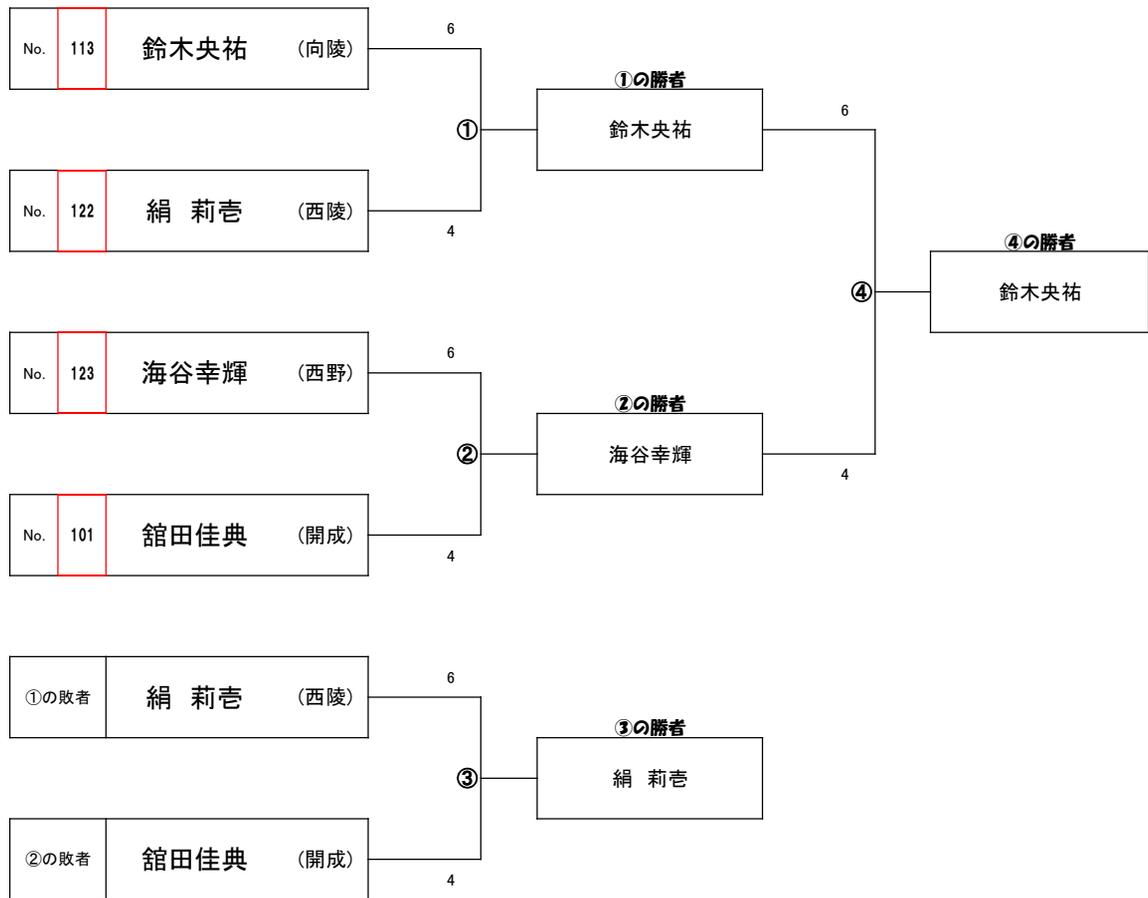


男子：グループ1

コート番号 ※A～Dは東側4面コート。

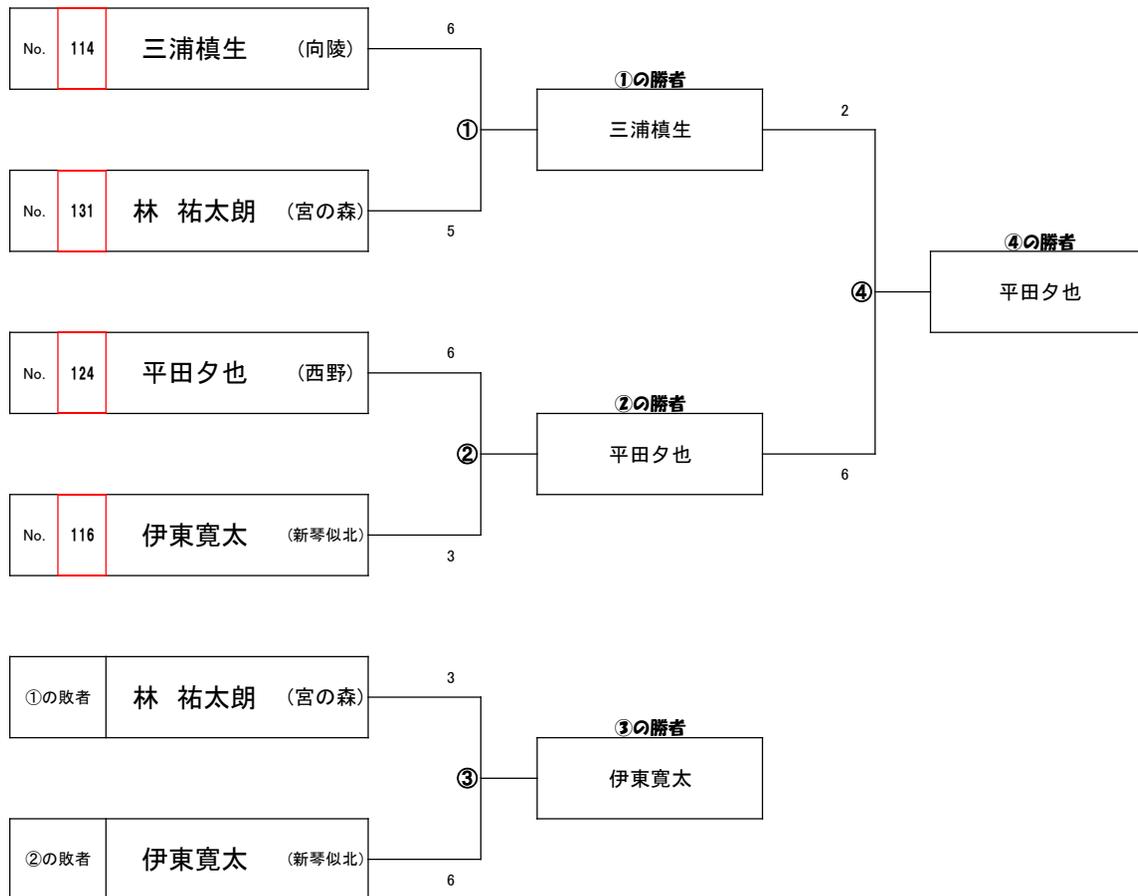


◆諸注意◆

- (1)①～④の順で、試合を行うこと。
全て6ゲーム先取ノードで行う。
試合前の練習はサーブ各サイド2本ずつのみ。
- (2)トーナメントの一番上の生徒が、全ての記録を記載すること。筆記具は一人で使用する。
※勝者、敗者の欄は苗字のみでよい。
- (3)スコアについては、各山の赤い口の中に記載。
スコアボードには、現在の試合番号がわかるように1～4の番号を掲示すること。
- (4)試合①②、③④の間は空けず、
選手はすぐコートに入り試合を行うこと。
②と③の間は、②の敗者が連続となるので、最大10分のインターバルを認める。
- (5)ボールは、缶のふたに書かれている番号と試合番号が一致するものを使用すること。
- (6)試合終了後は、各選手が使用したベンチを除菌シートを用いてきれいにすること。
- (7)全試合終了後、速やかに本部にボールと、記録ボードを返却すること。

男子：グループ2

コート番号 ※A～Dは東側4面コート。



◆諸注意◆

- (1)①～④の順で、試合を行うこと。
全て6ゲーム先取ノードで行う。
試合前の練習はサーブ各サイド2本ずつのみ。
- (2)トーナメントの一番上の生徒が、全ての記録を記載すること。筆記具は一人で使用する。
※勝者、敗者の欄は苗字のみでよい。
- (3)スコアについては、各山の赤い口の中に記載。
スコアボードには、現在の試合番号がわかるように1～4の番号を掲示すること。
- (4)試合①②、③④の間は空けず、
選手はすぐコートに入り試合を行うこと。
②と③の間は、②の敗者が連続となるので、最大10分のインターバルを認める。
- (5)ボールは、缶のふたに書かれている番号と試合番号が一致するものを使用すること。
- (6)試合終了後は、各選手が使用したベンチを除菌シートを用いてきれいにすること。
- (7)全試合終了後、速やかに本部にボールと、記録ボードを返却すること。

男子：グループ3

コート番号 ※A～Dは東側4面コート。

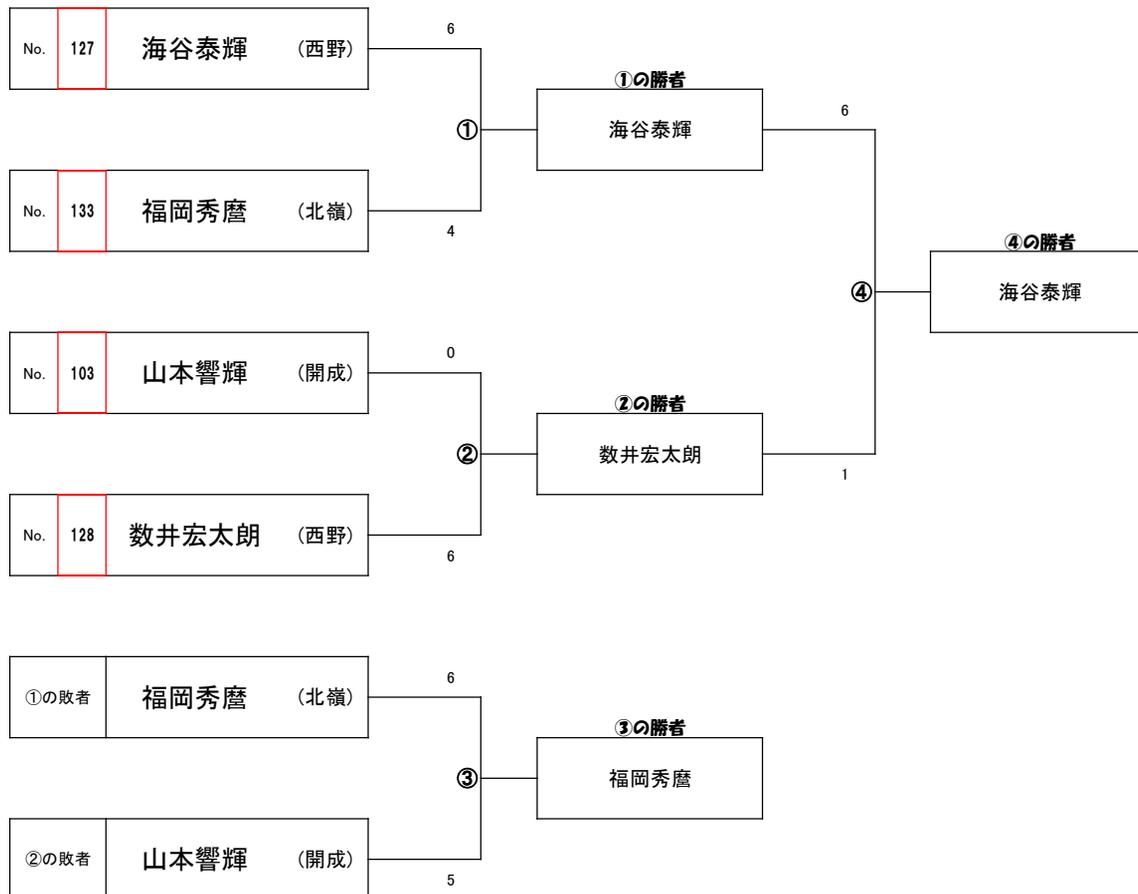


◆諸注意◆

- (1)①～④の順で、試合を行うこと。
全て6ゲーム先取ノードで行う。
試合前の練習はサーブ各サイド2本ずつのみ。
- (2)トーナメントの一番上の生徒が、全ての記録を記載すること。筆記具は一人で使用する。
※勝者、敗者の欄は苗字のみでよい。
- (3)スコアについては、各山の赤い口の中に記載。
スコアボードには、現在の試合番号がわかるように1～4の番号を掲示すること。
- (4)試合①②、③④の間は空けず、
選手はすぐコートに入り試合を行うこと。
②と③の間は、②の敗者が連続となるので、最大10分のインターバルを認める。
- (5)ボールは、缶のふたに書かれている番号と試合番号が一致するものを使用すること。
- (6)試合終了後は、各選手が使用したベンチを除菌シートを用いてきれいにすること。
- (7)全試合終了後、速やかに本部にボールと、記録ボードを返却すること。

男子：グループ4

コート番号 ※A～Dは東側4面コート。

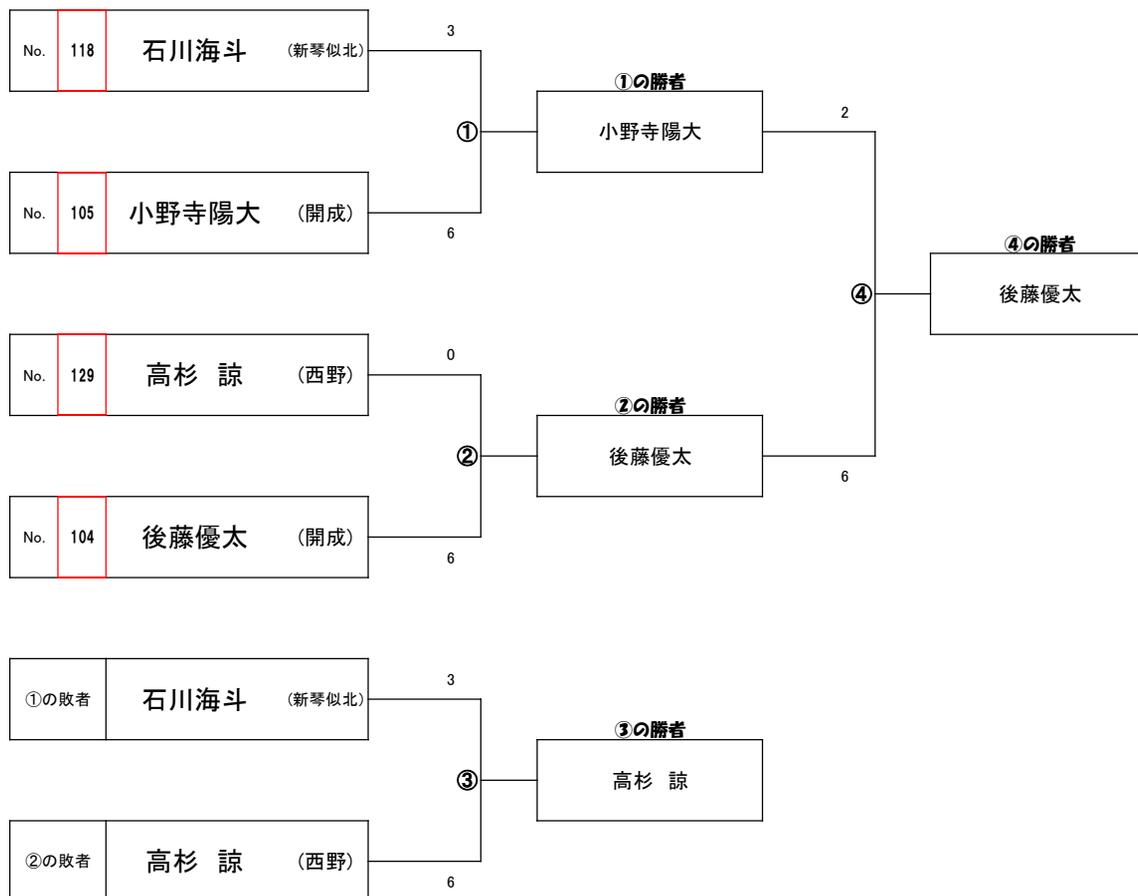


◆諸注意◆

- (1)①～④の順で、試合を行うこと。
全て6ゲーム先取ノードで行う。
試合前の練習はサーブ各サイド2本ずつのみ。
- (2)トーナメントの一番上の生徒が、全ての記録を記載すること。筆記具は一人で使用する。
※勝者、敗者の欄は苗字のみでよい。
- (3)スコアについては、各山の赤い口の中に記載。
スコアボードには、現在の試合番号がわかるように1～4の番号を掲示すること。
- (4)試合①②、③④の間は空けず、
選手はすぐコートに入り試合を行うこと。
②と③の間は、②の敗者が連続となるので、最大10分のインターバルを認める。
- (5)ボールは、缶のふたに書かれている番号と試合番号が一致するものを使用すること。
- (6)試合終了後は、各選手が使用したベンチを除菌シートを用いてきれいにすること。
- (7)全試合終了後、速やかに本部にボールと、記録ボードを返却すること。

男子：グループ5

コート番号 ※A～Dは東側4面コート。

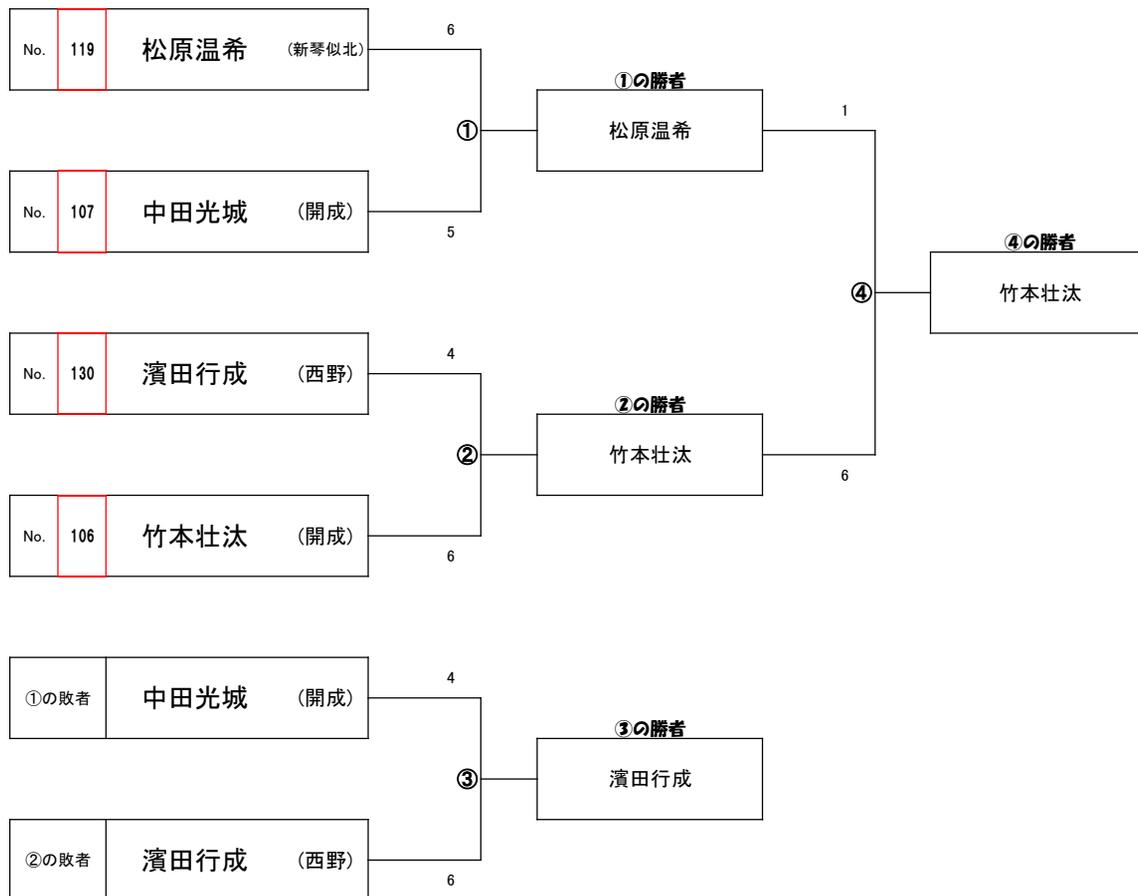


◆諸注意◆

- (1)①～④の順で、試合を行うこと。
全て6ゲーム先取ノードで行う。
試合前の練習はサーブ各サイド2本ずつのみ。
- (2)トーナメントの一番上の生徒が、全ての記録を記載すること。筆記具は一人で使用する。
※勝者、敗者の欄は苗字のみでよい。
- (3)スコアについては、各山の赤い口の中に記載。
スコアボードには、現在の試合番号がわかるように1～4の番号を掲示すること。
- (4)試合①②、③④の間は空けず、
選手はすぐコートに入り試合を行うこと。
②と③の間は、②の敗者が連続となるので、最大10分のインターバルを認める。
- (5)ボールは、缶のふたに書かれている番号と試合番号が一致するものを使用すること。
- (6)試合終了後は、各選手が使用したベンチを除菌シートを用いてきれいにすること。
- (7)全試合終了後、速やかに本部にボールと、記録ボードを返却すること。

男子：グループ6

コート番号 ※A～Dは東側4面コート。

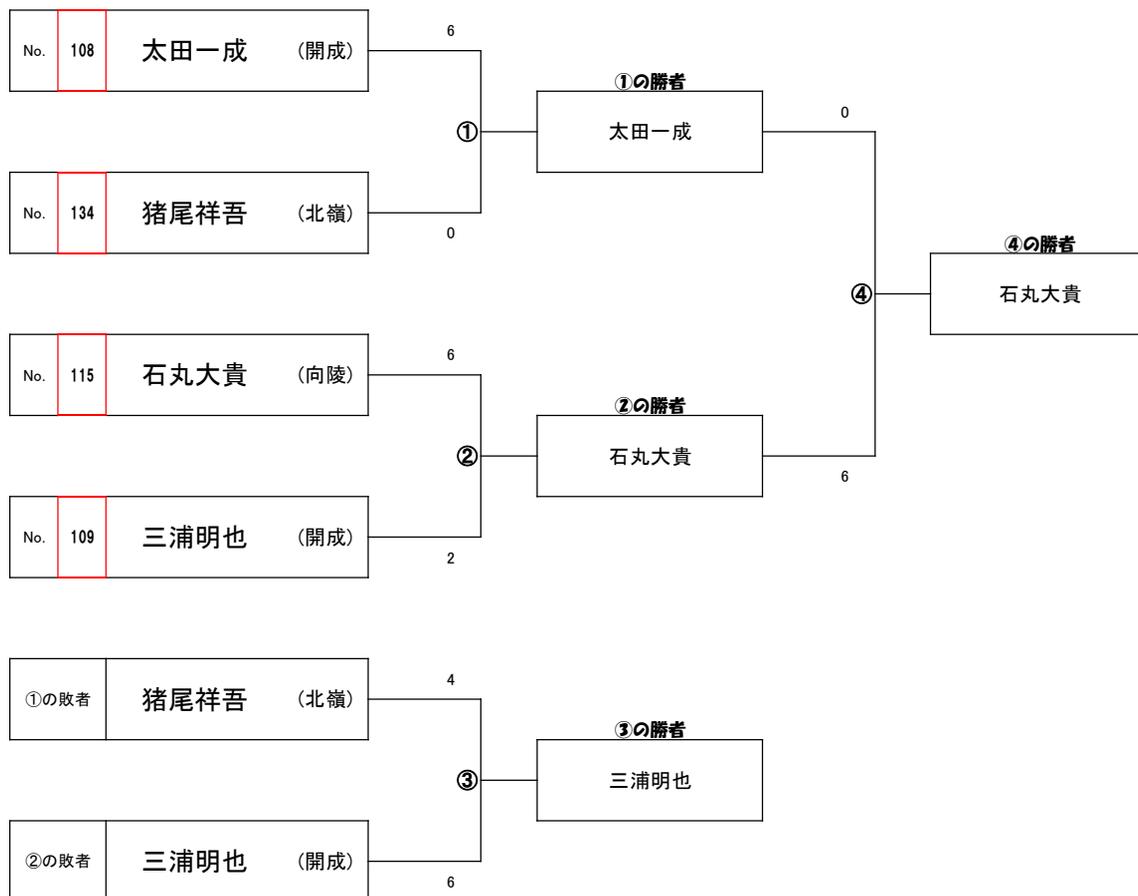


◆諸注意◆

- (1)①～④の順で、試合を行うこと。
全て6ゲーム先取ノードで行う。
試合前の練習はサブ各サイド2本ずつのみ。
- (2)トーナメントの一番上の生徒が、全ての記録を記載すること。筆記具は一人で使用する。
※勝者、敗者の欄は苗字のみでよい。
- (3)スコアについては、各山の赤い口の中に記載。
スコアボードには、現在の試合番号がわかるように1～4の番号を掲示すること。
- (4)試合①②、③④の間は空けず、
選手はすぐコートに入り試合を行うこと。
②と③の間は、②の敗者が連続となるので、最大10分のインターバルを認める。
- (5)ボールは、缶のふたに書かれている番号と試合番号が一致するものを使用すること。
- (6)試合終了後は、各選手が使用したベンチを除菌シートを用いてきれいにする。
- (7)全試合終了後、速やかに本部にボールと、記録ボードを返却すること。

男子：グループ7

コート番号 ※A～Dは東側4面コート。



◆諸注意◆

- (1)①～④の順で、試合を行うこと。
全て6ゲーム先取ノードで行う。
試合前の練習はサーブ各サイド2本ずつのみ。
- (2)トーナメントの一番上の生徒が、全ての記録を記載すること。筆記具は一人で使用する。
※勝者、敗者の欄は苗字のみでよい。
- (3)スコアについては、各山の赤い口の中に記載。
スコアボードには、現在の試合番号がわかるように1～4の番号を掲示すること。
- (4)試合①②、③④の間は空けず、
選手はすぐコートに入り試合を行うこと。
②と③の間は、②の敗者が連続となるので、最大10分のインターバルを認める。
- (5)ボールは、缶のふたに書かれている番号と試合番号が一致するものを使用すること。
- (6)試合終了後は、各選手が使用したベンチを除菌シートを用いてきれいにすること。
- (7)全試合終了後、速やかに本部にボールと、記録ボードを返却すること。

男子：グループ8

コート番号	
-------	--

※A～Dは東側4面コート。

				黒川英主	松本紘希	小林拓磨	勝ち数
No.	110	黒川英主	(開成)	○	○	×	1勝1敗
				3-6	6-4		
No.	120	松本紘希	(新琴似北)	○	○	○	2勝0敗
				6-3	6-0		
No.	135	小林拓磨	(北嶺)	×	×	×	0勝2敗
				4-6	0-6		

◆諸注意◆

- (1)①～④の順で、試合を行うこと。
全て6ゲーム先取ノードで行う。
試合前の練習はサブ各サイド2本ずつのみ。
- (2)トーナメントの一番上の生徒が、全ての記録を記載すること。筆記具は一人で使用する。
※勝者、敗者の欄は苗字のみでよい。
- (3)スコアについては、各山の赤い口の中に記載。
スコアボードには、現在の試合番号がわかるように1～4の番号を掲示すること。
- (4)試合①②、③④の間は空けず、
選手はすぐコートに入り試合を行うこと。
②と③の間は、②の敗者が連続となるので、最大10分のインターバルを認める。
- (5)ボールは、缶のふたに書かれている番号と試合番号が一致するものを使用すること。
- (6)試合終了後は、各選手が使用したベンチを除菌シートを用いてきれいにすること。
- (7)全試合終了後、速やかに本部にボールと、記録ボードを返却すること。

男子：グループ9

コート番号	
-------	--

※A～Dは東側4面コート。

				石田大翔	大嶋泰道	浅木理樹	勝ち数
No.	111	石田大翔	(開成)	○	×	○	1勝1敗
				6-3	3-6	6-3	
No.	132	大嶋泰道	(札幌日大)	○	○	○	2勝0敗
				6-3	6-3	6-3	
No.	136	浅木理樹	(北嶺)	×	×	○	0勝2敗
				3-6	3-6	6-3	

◆諸注意◆

- (1)①～④の順で、試合を行うこと。
全て6ゲーム先取ノードで行う。
試合前の練習はサブ各サイド2本ずつのみ。
- (2)トーナメントの一番上の生徒が、全ての記録を記載すること。筆記具は一人で使用する。
※勝者、敗者の欄は苗字のみでよい。
- (3)スコアについては、各山の赤い口の中に記載。
スコアボードには、現在の試合番号がわかるように1～4の番号を掲示すること。
- (4)試合①②、③④の間は空けず、
選手はすぐコートに入り試合を行うこと。
②と③の間は、②の敗者が連続となるので、最大10分のインターバルを認める。
- (5)ボールは、缶のふたに書かれている番号と試合番号が一致するものを使用すること。
- (6)試合終了後は、各選手が使用したベンチを除菌シートを用いてきれいにすること。
- (7)全試合終了後、速やかに本部にボールと、記録ボードを返却すること。

男子：グループ10

コート番号	
-------	--

※A～Dは東側4面コート。

				工藤 綸太	三品 慶透	山田 直啓	勝ち数
No.	112	工藤 綸太	(開成)	×	○ 6-5	○ 6-2	2勝0敗
No.	121	三品 慶透	(新琴似北)	× 5-6		○ 6-1	1勝1敗
No.	137	山田 直啓	(北嶺)	× 2-6	○ 1-6		0勝2敗

◆諸注意◆

- (1)①～④の順で、試合を行うこと。
全て6ゲーム先取ノードで行う。
試合前の練習はサブ各サイド2本ずつのみ。
- (2)トーナメントの一番上の生徒が、全ての記録を記載すること。筆記具は一人で使用する。
※勝者、敗者の欄は苗字のみでよい。
- (3)スコアについては、各山の赤い口の中に記載。
スコアボードには、現在の試合番号がわかるように1～4の番号を掲示すること。
- (4)試合①②、③④の間は空けず、
選手はすぐコートに入り試合を行うこと。
②と③の間は、②の敗者が連続となるので、最大10分のインターバルを認める。
- (5)ボールは、缶のふたに書かれている番号と試合番号が一致するものを使用すること。
- (6)試合終了後は、各選手が使用したベンチを除菌シートを用いてきれいにすること。
- (7)全試合終了後、速やかに本部にボールと、記録ボードを返却すること。

女子：グループ1

コート番号 ※A～Dは東側4面コート。



◆諸注意◆

- (1)①～④の順で、試合を行うこと。
全て6ゲーム先取ノードで行う。
試合前の練習はサーブ各サイド2本ずつのみ。
- (2)トーナメントの一番上の生徒が、全ての記録を記載すること。筆記具は一人で使用する。
※勝者、敗者の欄は苗字のみでよい。
- (3)スコアについては、各山の赤い口の中に記載。
スコアボードには、現在の試合番号がわかるように1～4の番号を掲示すること。
- (4)試合①②、③④の間は空けず、
選手はすぐコートに入り試合を行うこと。
②と③の間は、②の敗者が連続となるので、最大10分のインターバルを認める。
- (5)ボールは、缶のふたに書かれている番号と試合番号が一致するものを使用すること。
- (6)試合終了後は、各選手が使用したベンチを除菌シートを用いてきれいにする。
- (7)全試合終了後、速やかに本部にボールと、記録ボードを返却すること。

女子：グループ2

コート番号 ※A～Dは東側4面コート。



◆諸注意◆

- (1)①～④の順で、試合を行うこと。
全て6ゲーム先取ノードで行う。
試合前の練習はサーブ各サイド2本ずつのみ。
- (2)トーナメントの一番上の生徒が、全ての記録を記載すること。筆記具は一人で使用する。
※勝者、敗者の欄は苗字のみでよい。
- (3)スコアについては、各山の赤い口の中に記載。
スコアボードには、現在の試合番号がわかるように1～4の番号を掲示すること。
- (4)試合①②、③④の間は空けず、
選手はすぐコートに入り試合を行うこと。
②と③の間は、②の敗者が連続となるので、最大10分のインターバルを認める。
- (5)ボールは、缶のふたに書かれている番号と試合番号が一致するものを使用すること。
- (6)試合終了後は、各選手が使用したベンチを除菌シートを用いてきれいにする。
- (7)全試合終了後、速やかに本部にボールと、記録ボードを返却すること。

女子：グループ3

コート番号 ※A～Dは東側4面コート。



◆諸注意◆

- (1)①～④の順で、試合を行うこと。
全て6ゲーム先取ノードで行う。
試合前の練習はサーブ各サイド2本ずつのみ。
- (2)トーナメントの一番上の生徒が、全ての記録を記載すること。筆記具は一人で使用する。
※勝者、敗者の欄は苗字のみでよい。
- (3)スコアについては、各山の赤い口の中に記載。
スコアボードには、現在の試合番号がわかるように1～4の番号を掲示すること。
- (4)試合①②、③④の間は空けず、
選手はすぐコートに入り試合を行うこと。
②と③の間は、②の敗者が連続となるので、最大10分のインターバルを認める。
- (5)ボールは、缶のふたに書かれている番号と試合番号が一致するものを使用すること。
- (6)試合終了後は、各選手が使用したベンチを除菌シートを用いてきれいにする。
- (7)全試合終了後、速やかに本部にボールと、記録ボードを返却すること。

女子：グループ4

コート番号 ※A~Dは東側4面コート。



◆諸注意◆

- (1)①～④の順で、試合を行うこと。
全て6ゲーム先取ノードで行う。
試合前の練習はサーブ各サイド2本ずつのみ。
- (2)トーナメントの一番上の生徒が、全ての記録を記載すること。筆記具は一人で使用する。
※勝者、敗者の欄は苗字のみでよい。
- (3)スコアについては、各山の赤い口の中に記載。
スコアボードには、現在の試合番号がわかるように1～4の番号を掲示すること。
- (4)試合①②、③④の間は空けず、
選手はすぐコートに入り試合を行うこと。
②と③の間は、②の敗者が連続となるので、最大10分のインターバルを認める。
- (5)ボールは、缶のふたに書かれている番号と試合番号が一致するものを使用すること。
- (6)試合終了後は、各選手が使用したベンチを除菌シートを用いてきれいにする。
- (7)全試合終了後、速やかに本部にボールと、記録ボードを返却すること。

女子：グループ5

コート番号 ※A～Dは東側4面コート。



◆諸注意◆

- (1)①～④の順で、試合を行うこと。
全て6ゲーム先取ノードで行う。
試合前の練習はサーブ各サイド2本ずつのみ。
- (2)トーナメントの一番上の生徒が、全ての記録を記載すること。筆記具は一人で使用する。
※勝者、敗者の欄は苗字のみでよい。
- (3)スコアについては、各山の赤い口の中に記載。
スコアボードには、現在の試合番号がわかるように1～4の番号を掲示すること。
- (4)試合①②、③④の間は空けず、
選手はすぐコートに入り試合を行うこと。
②と③の間は、②の敗者が連続となるので、最大10分のインターバルを認める。
- (5)ボールは、缶のふたに書かれている番号と試合番号が一致するものを使用すること。
- (6)試合終了後は、各選手が使用したベンチを除菌シートを用いてきれいにする。
- (7)全試合終了後、速やかに本部にボールと、記録ボードを返却すること。